

○ '20～ CBR1000RR-R ストリートアンダーカウル 取付け説明書 ○

1) アンダーカウルの脱着の際、傷付け防止の為、車体下にマット、段ボール、新聞などを敷いてください。

2) 純正アンダーカウルを取り外します。オイルクーラーガードはそのまま車体に残します。

(注) 取り外した、アッパーカウルとの結合ボルト、フレームピボット下左右のボルトは、オリジナルアンダーカウルの装着に使用します。**('24～ 年式では使用しません)**

○ '24～ 年式の場合

オリジナルアンダーカウルを入れ込む前に、付属のステーをフレーム右ピボット下に写真 ③ の様に付属のフランジボルト(M6X12)にて取り付けます。

アンダーカウル右後部ダクト前の穴に、付属のDリングファスナーを入れ、裏面からナイロンワッシャーを挿入します。

3) オリジナルアンダーカウルを車体右側から入れ込み、先にオイルクーラーガードの表にアンダーカウルシュラウド部を被せてから(写真 ①)アンダーカウル後部を持ち上げます。

(注) メンテナンススタンドを使用する場合も、サイドスタンドを出した状態で作業してください。(写真 ②)

(注) 純正アンダーカウル、オリジナルアンダーカウル共に、傷付け防止の為、車体両サイドから2名での作業をお勧めします。

4) アッパーカウルとの結合6箇所、後部両サイドを、2)で外した純正ボルトにて仮固定します。

○ '24～ 年式の場合

アッパーカウルとの結合6箇所は、付属のスリムヘッドボルト(M5X20)で仮固定し、右後部はDリングファスナーにて固定し、左後部は付属のボタンキャップボルト、ステンワッシャー、ゴムワッシャーにて仮固定します。

(注) アッパーカウル、ステー側のゴムウエルナットは奥に脱落し易いので、アンダーカウル縁、ダクト穴から指を入れてウエルナット裏にあてがい、手前に押さえながらスリムヘッドボルトを締めていってください。

5) アッパーカウルとの合わせ目、後部はフレームとのクリアランス、マフラーとのクリアランスを確認しながら、各部を本締めしてください。



①



②



③

(お願い) カウルのマフラーと接近している部分には、必ず付属の断熱材を貼ってください。
足りない場合は、お客様で別途ご購入くださいませ。
それでもマフラーの熱によってカウルが焦げてしまう可能性があります。
お客様の責任の下でアンダーカウルを装着してください。

(注意) アンダーカウルは全てのマフラーに対応している訳ではありません。
マフラーの種類によっては、カット、その他加工が必要になる場合があります。